



同好会ひろば

第305号
R7.1.9
No.5

～今後の予定～

- 1月16日(木) 19:00～ 小・中学校合同発表会(中小企業振興会館にて)
- 2月10日(月) 19:00～ 2月全体会(名古屋市公会堂にて)
- 2月21日(金) 18:30～ 第三回ステップアップ研修全体会・授業力アップ研修全体会(名古屋市都市センターにて)

「授業力アップグループ研修」

10月2日(水) 南区 大磯小学校にて

和気あいあいとした雰囲気の中で研修が行われており、この日は参加者が一つずつ持ち寄ったトークテーマについて話し合っていました。社会科学学習に限らず、日頃の悩みについて話し合うことで、若手会員同士のつながりを深めていました。

松野雄仁郎 先生

新帯すみれ 先生

犬飼公貴 先生

歴史の調べ学習を、
どうやって進めて
いますか？

校務分掌で、情報を
担当しています。仕事
の量が多くて、不安
で…。

グループリーダー
下村康大 先生

日頃の悩みを出し合っ
てみましょう!!

席替えや給食指導
を、どうやって行
っていますか？

杉浦日向太 先生

11月5日(火) 港区 港北中学校にて

この日の研修では、主体的に学習に取り組む態度の評価の見取り方や学習計画の立て方、調べ学習の行い方などについて話し合っていました。様々な悩みをグループの仲間と共有し、アイデアを出し合う姿が見られました。

グループリーダー
川崎晃司 先生

中村繁希 先生

見通しをもって学習
に取り組むことがで
きるような工夫をし
ています。

「選挙の公約を作ろう」
という課題を出し、自由
進度で調べ学習をさせ
ています。

山田善貴 先生

グループリーダー
服部樹 先生

それぞれのよう
な工夫をしているの
か出してみましょう。

小木英梨奈 先生

小里悠人 先生

末木豪 先生

三浦健太郎 先生

「きらり輝く社会科授業」

「より良い社会をつかっていこうとする気持ちを高める社会科学習」

小学校5年 「米づくりのさかな地域」

相生小学校 大口諒

「より良い社会を自分たちの手で築いていくんだ!」このような気持ちを社会科の授業を通して育みたい。子どもの「より良い社会をつかっていこう」とする気持ちを高めるためには、様々な工夫があるが、その中でも実際の社会で働く人々と出合わせることが大切だと考える。

そこで、各学習段階で、ゲストティーチャー(以下:GT)と出合わせながら学習を進めた。実践では、つかむ段階で出会った GT から「これからの日本の米作りはどうなっていくのか、考えてほしい」とお話しいただいた。この言葉を聞いた子どもたちは、「調べてみたい」「米作りについて知りたい」と意欲を見せた。調べる段階では、子どもの「農家さんから話を聞いてみたい」という声をひろい上げ、オンラインで庄内平野で米作りを営む方から話を聞く機会を設けた。「農家さんの工夫や努力が分かったよ」「教科書にも書いてあったけど、本当に農家の数が減っていて困っているのだね」という思いを、子どもにもたせることができた。

最後には、つかむ段階で出合わせ GT に、これからの米作りの在り方について伝えた。そして、米作りの現状についてたくさんの人に知ってもらうために、作った新聞やリーフレットを GT の店舗に置かせていただけないか尋ね、許可していただけた。

子どもたちは、単元内で一番の笑顔を見せた。自分たちの働きによって、思いや願いが形になることの達成感を味わわせることができた。また、自分たちの力で何かを変えられるという思いを抱かせることができたのではないかと考える。このような取り組みが、「より良い社会をつかっていこう」とする気持ちを育むきっかけになれば……と願うばかりである。



「主体的に社会に関わろうとする生徒の育成」

中学校3年 「個人の尊重と日本国憲法」

東港中学校 飯場しおり

「あなたが興味をもつ現代社会の課題はなんですか」そんな問い掛けで、公民的分野の学習をスタートさせた。人種差別、誹謗中傷、歩きスマホ、ヤングケアラー、食品ロス……。公民的分野と聞いて、政治や経済の話は難しそうだと尻込みしていた生徒たち。しかし学習を進め、対話を重ねるにつれ、一人一人に切実感や当事者性のある課題が見いだされた。

「その課題が重要だと思う理由は、なんですか?」これは「個人の尊重と日本国憲法」の単元における問いだ。学級内には、自分の選択した課題についてよく知らない生徒もいる。そんな生徒が、「それが重要な課題である」と説明したり、理解したりすることを目標とした。説明に説得力をもたせる根拠として日本国憲法を提示すると、憲法と人権について主体的に調べようとする姿が見られた。そして生徒たちは、国の最高法規である憲法によって保障されているはずの基本的な人権が、様々な課題においても脅かされていることに気付いた。

単元末、問いに対する自分の答えを発表する生徒の姿からは、「絶対にこの課題を解決したい」という強い思いが感じられた。また、発表を聞いた生徒が、新たな課題やその重要性に気付く様子も見られ、単元の振り返りでは、「今はどんな制度や対策があるのか調べたい」「政治について学び、解決策を考えたい」という主体的な態度の高まりがうかがえた。

